

水辺のひょうきん族

阿賀野川のアシ原の周りにはいるクイナの仲間で全体が黒い鳥にバンとオオバンがいます。どちらも春から夏にかけて草を集めて作った巣で子育てをします。ふだんは水面で浮かんでいたり、水際で歩いていたり、頭を潜らせて水中のエサをとるのをよく見かけます。首をふりふり泳ぐようすがとてもユーモラスで水辺のひょうきん族といえます。

【バン】 分類：ツル目 クイナ科

ハトくらいの大きさで額からくちばしにかけて赤く、尾の下側が白く二本の線がくっきり見えます。「クルルッ」と高い声で鳴くことがあり、小さな虫や若葉を好んで食べます。

【オオバン】 分類：ツル目 クイナ科

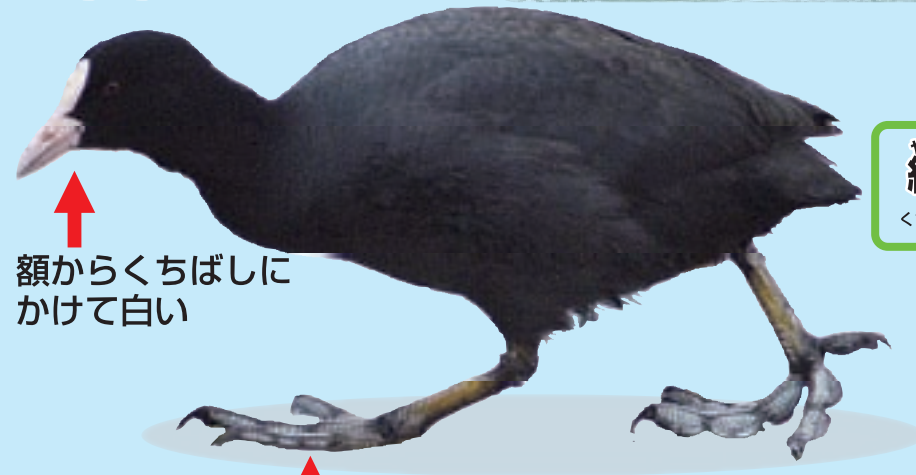
バンより少し大きく、額からくちばしにかけて白いほかは全体が真っ黒です。子育ての間はやさしいお母さんでも、ナワバリ争いでけんかをするときには荒々しい性格も見せます。



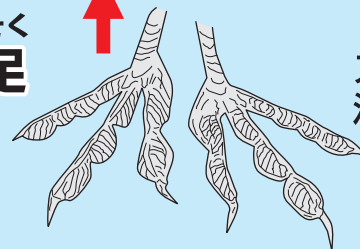
やく約 30cm

くちばしから尾までの長さ

オオバン



べんそく
弁足



スイレンの葉の上や泥沼を歩くとき沈まないようにできています。

オオバンの親子



やく約 40cm

くちばしから尾までの長さ



よく見られる場所

